

「バリアフリー進めて」

宮津で智恩寺など 段差をチェック

4人の車椅子の利用者が19、20日、宮津市の智恩寺や松公園などを巡るツアーをした。市などで作る「バリアフリー観光推進協



宮津カトリック教会に入った車椅子利用者たち
＝宮津市で

議会が初めて実施し、建築物の入り口の段差などをチェックした。

宮津カトリック教会では、近藤雅広神父が木造で敷敷きの天主堂を説明。細川ガラシヤ

が幽閉された味土野(京丹後市弥栄町)の木を柱とするなど丹後の素材を使用し、腕の良い丹後の大工が造ったため100年以上も建築当時のまま使用で話した。「塩田敏夫」

きるといふ。「郷土を愛する丹後の人の心を感ずる」と話した。

車椅子利用者の一人は「バリアフリーをさらに進めてほしい」と話した。「塩田敏夫」